

まちだ納税貯蓄組合連合会 優秀賞

『税について』

町田市立町田第二中学校 3学年 長山 遼海

先日テレビの番組を見ていたら、消費税の話をしていました。消費税は、今は十パーセントですが数年後には十五パーセントになるそうです。家族のみんなは、「消費税が上がると物の値段が上がるように困るな、嫌だな。」と言っていました。しかし、税金は本当に嫌なものなのでしょうか。

私は税金のことが気になり、母に聞いてみました。すると「この前使ったばかりだね。」と言われました。実は私は一ヶ月前、耳鼻科を受診しました。その時気付いたことがあります。それは、大人は高い診察代を払っているのに、私はカードを見せるだけで二百円で済むことです。そのカードとは、「マル子医療証」のことです。私たち中学生以下の診察代は、税金でまかなわれているそうです。それと、先日とある道路に新しい交差点ができました。以前は道幅が狭く、信号機や歩道もない道路でした。しかし、交差点ができたのと一緒に信号機や歩道も付き、安全に歩けるようになりました。母によると、それらの制度や道路は私たちが払っている税金で作られているそうです。その他にも、私たちの生活には税金によって成り立っているものがたくさんあります。

例えば、毎日使っている教科書です。教科書は税金によって無償

で支給されています。また、令和三年度の公立学校の生徒一人当たりの年間教育費負担額は中学生で約百三十万円にもなるそうです。つまり私たちは税金のおかげで安心して病院を利用でき、充実した授業を受けることができるのです。

このように、税金は私たちにとって決して無関係なものではありません。

先日のテレビ番組で消費税の話と一緒に少子高齢化の話もしました。今、日本では少子高齢化がどんどん進んでいるそうです。そして、私たちが働くようになった頃には今よりも高齢者が増え、高齢者を支える側の働き手とのバランスが崩れてしまうそうです。消費税はそれらを補い、社会保障を充実させるためにすごく重要な役割を担っています。私たちの生活は、消費税などの税金によって支えられていることがよく分かりました。

私は今まで税金と聞くと中学生には関係のない難しいものというイメージがありました。しかし、税金は私たちの将来にも大きく関係する大きなもので一人一人が真剣に考えなければいけないものでした。そして私たちだけではなく、次の世代「私たちの子供」にも非常に大きな影響を与えるものなのです。だから、私は税金の大切さやありがたみを十分に理解し、それを伝えられるようになりたいと思います。そして、社会人になったときには、きちんと納税していきます。なぜかというとな納税をすることは、自分の手で自分の生活を守ることになるからです。